

新型コロナウイルス感染症防止対策ガイドライン

日本バトン協会東北支部

これは、「第48回全日本バトントワーリング選手権東北支部大会コンテストの部」「第48回全日本バトントワーリング選手権東北支部大会」「第4回全日本バトントワーリングジュニア選手権東北支部大会」「2023年IBTF世界バトントワーリング選手権大会日本代表選考会東北支部予選会」において、公益財団法人日本スポーツ協会、一般社団法人日本バトン協会、開催県である宮城県新型コロナウイルス感染症拡大防止の方針を踏まえ作成したガイドラインです。

国及び開催県である宮城県から発出される新型コロナウイルス感染症対策の内容に基づき順次更新いたします。感染拡大防止及び参加者の安全確保のため、以下の内容を遵守できないものは大会参加の取り消し・途中退場を求める場合がありますので必ず事前にご一読いただきますようお願いいたします。

参加者が遵守すべき事項・留意点 (主催者が大会参加者に求める感染拡大防止のための措置)

○参加者の大会参加判断基準について

- ・大会参加者の参加判断基準は表1. 2のとおりとする。

<表1 大会参加者の参加基準表（一日目参加者用）>

| | 大会前（日） | | | | | | | | | | | 大会 | |
|---------|--------|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|---|
| | 11 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 1 | 2 |
| 感染者 | ● | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ |
| 濃厚接触者 | — | — | — | ● | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ |
| 自宅待機対象者 | — | — | — | ● | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ |
| 感染疑い者 | — | — | — | — | — | — | — | ● | × | × | × | ○ | ○ |
| 接触者 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | ○ | ○ |

●判定日

<表1 大会参加者の参加基準表（二日目参加者用）>

| | 大会前（日） | | | | | | | | | | | 大会 | |
|---------|--------|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|---|
| | 11 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 1 | 2 |
| 感染者 | — | ● | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ |
| 濃厚接触者 | — | — | — | — | ● | × | × | × | × | × | × | × | ○ |
| 自宅待機対象者 | — | — | — | — | ● | × | × | × | × | × | × | × | ○ |
| 感染疑い者 | — | — | — | — | — | — | — | — | ● | × | × | × | ○ |
| 接触者 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | ○ | ○ |

●判定日

【感染者】【濃厚接触者】

- ・感染者の判定日とは症状が出始めた日とし、無症状の場合は陽性と判断された検体採取日とする。
- ・濃厚接触者は原則として所轄保健所の判断による。
- ・医師又は保健所の指示に従い、療養機関及び自宅待機期間等の制限が解除された場合には参加可能。

【自宅待機対象者】

- ・自宅待機対象者の判定日とは感染者の感染可能期間に接触した日とする。(複数日の場合には大会に最も近い日)
- ・団团长・医師と相談の上、自宅待機対象期間等の制限を解除した場合には参加可能。

【感染疑い者】

- ・発熱(37.5℃以上)や風邪症状、だるさや息苦しさ、味覚や臭覚異常など、体調不良チェック項目該当者または医師(看護師)により体調不調を認められたものを感染疑い者とする。
- ・感染疑い者の判定日とは、体調不良チェック項目に該当する症状の出た日または医師(看護師)により体調不良を認められた日とする。

【接触者(要観察者)】

- ・濃厚接触者の陰性判定前及び経過観察期間中に当該濃厚接触者にマスクなしで接触したするなど感染が疑われる者。
- ・大会参加日に、医師が感染者の可能性が低いことを診断又はPCR検査により陰性判定の場合の場合は参加可能。

- マスクを各自持参すること(参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること。)ウオーミングアップエリア内や演技中などマスクをしていない場合には十分な距離を空けるよう特に留意をする必要がある。強度が高い運動等の場合は呼吸が激しくなるため、より一層距離を空けること。
- マスクを着用して十分な呼吸ができずに熱放散が妨げられることで熱中症のリスクが高くなることから、息苦しさを感じたときは、すぐにマスクを外す、休憩とるなど、無理をしないこと。
- マスクケース・手指消毒液を各自持参すること。
(移動時には必ず持参すること。特にマスクを床に直接置かないようにすること。)
- 入館チェックシートを提出し、手指消毒をして非接触式体温計で検温を受けること。
- 受付は、団体毎に団体責任者が行うこと。
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- 他の選手、主催者等との距離(できるだけ2mを目安に)を確保すること。
- 大会中に大きな声での会話、応援等をしないこと。
- タオルの共用はしないこと。

- トイレの蓋は閉めて流すこと。
- ゴミは各自持ち帰ること。
- 感染予防のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- 大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- 大会前後のミーティングにおいても三密を避けること。
- 体育館での飲食については、周囲の人となるべく距離を空けて対面を避け、黙食をすること。
- 大会当日までの 2 週間検温すること。
- 厚生労働省から提供されている、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）やみやぎお知らせコロナアプリ（MICA）の活用について協力を求めること。

主催者側の感染予防対策

- 感染予防のため主催者が実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理しチェックリスト化したものを適切な場所（大会の受付場所等）に掲示する。
- 各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認する。
- 大会主催者は関係者及び参加者の連絡先を事前に取得することや大会中の座席表の保管等を行うことにより、感染が発生した際には、参加者への連絡や、参加者の連絡先及び大会中の参加者同士の接触の状況等の情報を保健所や関係部局へ提供する等の協力を行うものとする。万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、参加当日に参加者より提出を求めた情報について、保存期間（少なくとも 1 か月以上）を定めて保存し、保存期間終了後、内容が外部に漏れないよう安全に廃棄する。
- 参加者が当該保健所の管外から来場していた場合、県は濃厚接触者への連絡業務等に関して、必要に応じて、県内の他の地域や他の都道府県との調整を行うものとする。
- 大会終了後に参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、施設の立地する自治体の衛生部局と検討しておく。
- 受付等必要と考えられる場所には手指消毒剤や非接触式体温計を設置する。
- 参加費・プログラム等は事前振込等で行い、当日は現金授受を避ける。
- 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように貼紙等により注意を促す。
- マスクの予備を準備する。
- 人と人が対面する場所はアクリル板などで遮蔽する。
- 無観客開催とする。
- 開会式、閉会式は整列せずアナウンスのみで実施。
- 表彰、順位については、日本バトン協会東北支部 HP で発表する。
- 大会終了後、賞状及び推薦状は団体ごと一括して郵送する。
- 通路や階段が密にならないように動線を貼紙等で提示する。

- 換気の悪い密閉空間をとらないよう定期的に十分な換気を行うこと。
- 選手席・選手引率者席は県ごとに分ける。
- 基本的に、役員と実行委員は最低限の人数で運営する。
- 役員、審査員、実行委員も選手同様に入館チェックシートを（別紙1）提出すること。
- ドアノブ・手摺については定期的に消毒する。
- 大声を出す等の感染リスクが高まるような行動を確認した際には会場からの退出を求める。
- 選手（演技最前線）から審査員までの距離を2m以上確保する。